

減らせ突然死

AED推進フォーラム2025

AEDで命を救える社会の『仕組み』づくり
一街中における緊急時のAEDへのアクセス改善に向けて一

日本AED財団は、AEDで心臓突然死を減らすための仕組みづくり、仕掛けづくりに取り組んでいます。その一環として「救命サポータープロジェクト team ASUKA」を立ち上げ、救命に協力できる救命サポーターを増やし、応援することによって迅速な救命処置やAED使用につなげる活動を展開してきました。

毎年開催しているAED推進フォーラムでは、テーマを決めてその活動内容を紹介させていただくと共に、さらなる発展に向けた議論を取り交わしています。

今回は「Social」の場面に焦点をあて、主に公共の場でどうすれば協力者を素早く巻き込み、AEDを確保し使用できるか、そしてより多くの命を救うことができるのかについて、議論を深めます。

日 程

12月 3日（水）

時 間

13:00～16:00

会 場

一橋講堂（学術総合センター内）

東京都千代田区一ツ橋2-1-2

*本フォーラムではメディアによる写真・動画撮影が行われる予定です。
その際、ご来場されている皆様が写真・映像に映り込む可能性がございます。
予めご了承ください。

*ご来場時に手荷物検査を行う可能性がございます。

後援 厚生労働省、総務省消防庁、文部科学省、朝日新聞社、ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ、全国学校安全教育研究会、全国ママさんバレーボール連盟、全国養護教諭連絡協議会、日本医師会、日本学校保健会、日本救急医学会、日本救急医療財団、日本サッカー協会、日本循環器学会、日本循環器協会、日本消防協会、日本心臓財団、日本スポーツ協会、日本赤十字社、日本蘇生協議会、日本チェーンドラッグストア協会、日本バドミントン協会、日本不整脈心電学会、日本放送協会(NHK)、日本ラグビーフットボール協会、日本陸上競技連盟、読売新聞社

協賛 旭化成ゾールメディカル、オムロン ヘルスケア、キヤノン、三和製作所、CU、セコム、日本光電工業、日本ストライカー、ディー・エヌ・エー、ハートストリーム・ジャパン、フクダ電子、日本ライフライン、森ビル、レールダル メディカル ジャパン

～ プログラム ～

13時00分

開会

来賓紹介

開会の辞 岡本 保 日本AED財団 会長

13時15分

I. 自分たちの日頃の準備が役立った！

座長：武田 聡 日本AED財団 常務理事/東京慈恵会医科大学 救急医学講座 主任教授
松岡 康子 日本AED財団 実行委員/NHK名古屋放送局記者

ホテルや駅でのAED使用例、会社でのAED使用例、Home AEDを活用した救命事例等

13時45分

II. AEDで命を救える社会の「仕組み」と「工夫」の先進事例

座長：田邊 晴山 日本AED財団 実行委員/救急救命東京研修所 教授
島本 大也 日本AED財団 実行委員/京都大学大学院 医学研究科
予防医療学分野 特定講師

地域における人が多く集まる施設や、企業組織における、組織内や
地域との繋がりの中での 救命に対する「仕組み」づくりや「工夫」の事例等

14時45分

休憩

14時55分

III. パネルディスカッション

テーマ：街中の緊急場面で、AEDはどこにある、誰が動く
司会：石見 拓 日本AED財団 専務理事/京都大学大学院医学系研究科
予防医療学分野 教授

堀 潤 NPO法人8bit News 代表/ジャーナリスト
パネリスト：学校やスポーツ現場、会社、不特定多数が出入りする施設におけるAEDの設置、
管理、運用に関わる方々、地域における取組を行っている首長、
医療機関救急部門関係者等

15時45分

IV. 功労賞発表 審査員長 平出 敦

15時55分

閉会の辞 三田村 秀雄 日本AED財団 代表理事・理事長

※プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

こちらのバーコードを
読み込んでお申込みください

